

平成23年度

久米島町教育委員会の事務に関する
点検・評価報告書

平成24年9月

久米島町教育委員会

ま え が き

久米島町教育委員会では、子ども達が「島に誇り」・「心に夢」を持ち、「個性豊かで創造性・国際性に富む活力ある人材」を目指すことができるよう教育振興に努めております。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、久米島町教育委員会の活動状況及び教育施策の実施状況についての点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することとされました。

なお、点検・評価に当たっては、点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとしました。

久米島町教育委員会委員名簿（平成24年7月10日現在）

職 名	氏 名	任 期
委員長	儀間周倫	22年7月10日から26年7月9日
職務代理者	山元朝弥	23年7月10日から27年7月9日
委員	當間裕子	24年4月 1日から25年7月9日
委員	儀間剛	24年7月10日から28年7月9日
委員（教育長）	比嘉隆	22年7月10日から26年7月9日

学識経験者名簿（五十音順）

役 職	氏 名
元教育委員会委員長	嘉味元ミツ子
久米島PTA連合会会長	吉原 昌司
前教育委員会委員長	松本 一也

I はじめに

1 点検・評価の導入の目的

教育委員会制度は、首長から独立した合議制の教育委員会が決定する教育行政に関する基本方針のもと、教育長及び事務局が広範かつ専門的な教育行政事務を執行するものです。このため、具体的な教育行政が執行されているかどうかについて、教育委員会自らが事後にチェックする必要があります。

このようなことから、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正において、教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが定められています。

町教育委員会は、この報告書を議会に提出するとともに、公表することにより町民への説明・責任を果たし、町民に信頼される教育行政を推進することを目的とします。

2 対象事業と点検・評価の方法

(1) 町教育委員会が策定した「平成23年度久米島町教育委員会事務事業」において、主要な事業の取り組み並びに達成状況について点検・評価を行いました。

(2) 評価方法

教育施策の各項目について、達成度により内部（自己）評価しました。

・達成度（A～D）

A・・・十分達成できた

B・・・概ね達成できた

C・・・やや不十分である

D・・・不十分である

(3) 外部評価

点検・評価にあたり、点検評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する次の3名の方にご意見をいただきました。

・

(4) 評価基準日

平成24年3月31日

平成23年度 久米島町教育主要施策

久米島町教育委員会

これからの国際化時代・情報化時代に向けて創造性豊かな人材の育成は、本町教育の最重要課題でありますので、先人たちが築き上げてきた文化や伝統を継承発展させるとともに「個性豊かで創造性・国際性に富む活力ある人材の育成」をめざして、学校教育並びに社会教育・文化教育の諸施策を推進します。

教育主要施策の策定にあたっては、国や県の教育改革の動向、県の重点施策の基本方針、第3次沖縄県教育推進計画等を踏まえ、「平成23年度久米島町教育主要施策」を定めました。

教育の目標

- ◆自ら学ぶ意欲を育て、学力の向上を目指すとともに、豊かな表現力とねばり強さをもつ、幼児児童生徒を育成します。
- ◆平和で安らぎと活力のある社会の形成者として、郷土文化の継承・発展に寄与し、国際化・情報化社会で活躍する心身ともに健全な町民を育成します。
- ◆家庭・学校・地域社会の相互連携のもとに、時代の変化に対応し得る教育の方法を追究し、生涯学習社会を推進します。

目標達成のための主要施策

学校教育の充実

学校教育においては、幼児児童生徒一人一人に基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の能力の育成及び豊かな心、健やかな体の育成など「生きる力」をはぐくむ学習活動を教育活動全体で充実させることが重要であり、自らの個性を生かし社会の変化に主体的に対応できる能力や創造性の基礎を培う育成を目指します。

このため学校においては、教育活動全体を通じて、“個”に応じた指導を充実させるとともに、目的意識を高める指導方法等の改善・充実を図ることで 幼児児童生徒に自己肯定感と向上心をはぐくむなど、適切な教育課程の編成・実施に努めます。

また町教育委員会においては 管内各学校が創意工夫を生かした特色ある教育課程を編成・実施できるよう各学校の実情に応じた適切な支援を実施します。

主要事業	内 容	取り組み状況	課 題	評価
全国学力・学習状況調査	児童・生徒の学力と学習・生活環境の関連が客観的に把握することができる（対象は小学校6年生・中学校3年生）	全国比－2%（小学生） 全国比－4%（中学生） まで引き上げる （全国的な実施は行っていない）	学校、学年、男女間で開きがあり、又算数、数学が弱く、全体的に応用する力が弱く無回答が多い	C
全国標準学力検査	小学生4年～6年（国語・算数） 中学生1年～3年（国・数・英）	偏差値50を目標とし学力向上を目指す	学習の未定着児童生徒の割合が大きい	C
沖縄県学力到達度調査	小学校3・5年生は国語・算数、 中学校2年生は国語・数学・英語 理科・社会を対象に学力調査を 実施し学力の状況を把握する	小・中学校とも沖縄県平均以上 を目標とする	小学校低学年において県平均との 差が大きい	C
読書実態調査	本に親しむことで、言葉を学び、 感性を磨き、表現力を高め、創造 力を豊かなものにし読解力・思 考力を培うことができる	読書数値目標小学校110冊、 中学校40冊を目標とする。	読書冊数は小学校・中学校とも にクリアしている。質を向上させ る為に取り組みを更に充実させ る必要がある	A
小学校（漢字検定）・中学校（英語検定）支援	漢字学習の動機付けと学習意欲 の向上 英語への興味関心を高 め、コミュニケーション能力の 育成を図る。	小学校合格者56.6% 5級以上の合格者26人 3級以上合格者から海外ホーム ステイ3名派遣 中学校合格率（35%）	どの学校においても漢字・英検 検定に向けて取り組みの充実を 図る必要がある	B
教育課程研究集会	教師一人一人の授業づくりの改 善・充実を図る為、島内小学校 より選出し「国語部会」「算数部 会」にて課題研究に取り組む	国語・算数にそれぞれ指導講師 の下研究員で組織し「わか る授業」の構築を図る	算数部会に関しては各学校1 名ずつである為、検証授業等 が多くなり研究をする日程調 整等が困難	B
久米島町学力向上実践発表会	学校・家庭・地域が一体となり 実効性のある取り組みがなされ るよう諸施策や具体的支援を通 して学力向上対策を推進する	各中学校ブロックにより11 月13日（日）開催	学校・家庭・地域連携の学力向 上を目指しているが、保護者や 地域の方の参加が少ない	B
学校統廃合	少子化に伴う幼児児童生徒の減 少傾向があり学習環境を構築す るため統廃合を推進する	久米島中学校と仲里中学校の 統廃合推進を図るため、検討 委員会の設置、地域説明会を 開催	25年度を目標にしているもの の保護者説明会・地域説明会に おいて趣旨・説明が十分されて いない	C

たくましい心と体をはぐくむ教育の推進

幼児・児童・生徒の体力の向上と健康の保持増進を目指し、健康教育及び保健教育の充実を図ります。又、教育活動の基盤となる安全な生活の確保のために諸事業を展開し、生涯スポーツの基礎を培うと共に、体力の向上が図れるよう学校体育の充実に努めます。

主要事業	内 容	取り組み状況	課 題	評 価
全国体力・運動能力、運動習慣等調査の実施	校内体力向上推進委員会を設置し新体力テスト、泳力調査を計画的に実施・分析し体力の向上に努める	平成 23 年度に関しては大震災関連で全国的に実施していない	ボール投げ・握力については全国・沖縄平均を上まわっているものの、上体起こし・長座体前屈等の柔軟性が求められる	B
健康教育講演会の開催	学校保健委員会を開催し児童生徒の健康問題の解決の為に組織的計画的に取り組む	各学校年間 3 回の学校保健委員会を実施している	島内における子ども達の健康状態に関して島全体で取り組んで行く必要がある	B
交通安全指導	学校、家庭地域、行政等の連携により、安全指導体制の確立と安全管理の充実を図る	新学期に幼・小 1 年を対象に安全協会・警察と連携し信号機・横断歩道を活用し身を守る学習を実施	登校時に各小学校校門にて、交通安全指導・挨拶運動をボランティアで展開しているが、人材が少ない	A
幼児児童生徒、教職員の健康診断実施	健康診断の計画・実施並びに適切な事後処置等、健康管理の充実に努める	定期健康診断を実施し久米島町健康管理システムを導入し、福祉課と連携しながら、児童・生徒の健康管理に努めている	福祉課と連携し、講師を招いて子ども達の健康についての取り組みをしているが保護者の意識が弱い	B
給食センター運営	児童・生徒の健やかな成長を育むため、安全、安心な給食を提供する	小学生 5 4 6 名・中学生 2 6 2 名・教職員 1 2 9 名 に美味しい給食を提供	建物が老朽化し、今後の食の安全・安心が懸念され改築が急務である。給食費の現年度徴収率は良好である	A

道徳・人権教育の充実

人権教育は、生命を大切にし、自他の人格を尊重し、互いの個性を認め合う共生の心などの豊かな人間性をはぐくむことを目指して行うことが重要であり、学校においては、人権尊重の考え方や共生の心について正しく身に付けさせる指導を充実させるとともに、日常的なかかわりの中で、教職員、児童生徒相互の人間関係づくりに努めています。

主要事業	内 容	取り組み状況	課 題	評 価
いじめ・不登校等に関する調査	児童・生徒の学校生活の状況を把握するための調査を実施	不登校・いじめ・暴力行為等の調査を実施、早急な対策を講じる為に毎月学校での調査を実施	毎月、調査を実施し子ども達の言葉遣いの指導、不登校・いじめがないよう取り組んでいるが細部まで把握できているか懸念される	A
スクールカウンセラー配置	スクールカウンセラーを配置し児童・生徒・保護者の支援を行う	本町出身の新里カツ子氏を相談員として委嘱し学校での支援を行っている	子ども達の悩みに多様生があり新里氏のみでの相談員ではニーズに対して人員不足の状況である	A

平和教育の充実

生命の尊重と個人の尊厳を基本とし、思いやりの心や寛容の心を育む為にも県や久米島町の歴史や地域の特性を考慮し、児童生徒の発達の段階に応じた平和教育を教育計画に位置づけ、学校の教育活動全体を通じて組織的・計画的に推進を図ります。

主要事業	内 容	取り組み状況	課 題	評 価
慰霊祭への参加	町慰霊祭に小・中・高校生が代表で参加	6月23日の慰霊の日において学校代表が参加し供花・千羽鶴を奉納し恒久平和を願う	戦没者遺族の皆さんの高齢化により町慰霊祭への出席者が少なくなりつつある	A
平和学習会	恒久平和を願う観点から平和学習会を開催し平和の継承を育む	慰霊の日前後に久米島博物館で特別展、及び戦跡巡りを開催	戦争体験者の高齢化、又、参加者の減少となり歴史の継承が薄れつつある	B

特別支援教育の充実

児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援するという視点に立ち、児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め生活や学習上の困難を改善又は克服するための適切な指導や必要な支援を行うものであります。学校においては、校内委員会の設置や特別支援教育コーディネーターを中心とした支援体制を構築し児童生徒の状態、特性等や学級の実態に即した教育課程を編成するなど特別支援学級の教育課程の充実を図る組織的な取り組みを推進します。

主要事業	内 容	取り組み状況	課 題	評 価
就学指導委員会設置	特別支援教育を要する幼児・児童及び生徒の就学指導を行うため調査・審議を行う	就学指導委員により心理学的検査結果を基に特別支援学級又は通常学級にて特別支援員を配置するか判定している	心理学判定員の更なる強化が必要及び今後の人材育成を図る必要がある	A
特別支援教育支援員の配置	学習につまづきのある児童を対象とし基礎学力向上を図る観点から支援員を配置し授業のサポートを行う	小学校に4名の特別支援教育支援員を配置し児童のサポートを行っている	支援員を配置したことで学習遅れの児童が落ち着いて学習に取り組むようになったが、島内小学校で増える状況にあり、財政面、支援員の人材の確保ができない	B
特別支援教育アドバイザーの派遣	特別な支援を要する幼児児童生徒に関する助言、支援学級担任・特別支援教育コーディネーターへの助言、啓発及び相談活動を行う	儀間啓子先生が、特別支援教育コーディネーター連絡会において助言及び支援学級担任や保護者への助言を行っている	特別支援教育アドバイザーの研修の充実、今後の人材育成	B

国際理解・外国語教育の推進

急速な国際化に伴い、異なる文化を持った人々と共に協調して生きていく資質や能力を育成することが求められている。学校においては小学校段階からの国際理解教育の充実を図り、あわせてコミュニケーションの手段としての英語に慣れ親しませ、小・中学校の学びの連続性を踏まえた英語によるコミュニケーション能力の育成を一層充実させ世界に羽ばたけるよう育成を図って参ります。

主要事業	内 容	取り組み状況	課 題	評 価
ALT の配置	中学校の英語の語学指導として配置、外国語を通して態度の育成を図る	本町採用の英語指導者としてアメリカ出身のマーティン・ベンジャミン先生を中学校に配置	何事にもチャレンジ精神で子ども達・学校職員・地域からも高い評価がある	A
英語指導員の配置	小学校の英語指導者として配置 島内 6 小学校で 3 年生以上の学年で英語学習指導を行う	6 小学校での英語指導者として金城秀和先生を配置	小学校での英語指導以外に小学校ミニバレーの指導者として地域貢献している	A
海外ホームステイ派遣事業	国際化、高度情報化時代に対応できるようアメリカでのホームステイを通し広く世界に羽ばたく人材育成を図る	英検 3 級以上の中学生から 3 名選出しアメリカに派遣。国際的視野により学習させる	海外派遣により生きた英語や文化の習得ができるが英検 3 級以上の男女において、女子生徒のみの応募で男子が派遣されたことがない	A

情報教育の充実

高度情報通信ネットワーク社会においては、児童生徒がコンピュータやインターネットを活用し主体的に対応できる「情報活用能力」を育成することが求められています。国際化・情報化の時代に対応する先見性と国際性に富んだ人材の育成を図るため、広い視野を持ち、異文化を理解するとともに、外国語能力の基礎や表現力等のコミュニケーション能力の育成を図る教育を推進する。また、情報化社会に対応できる情報活用能力を育成するため、情報教育の一層の改善・充実を図ります。

主要事業	内 容	取り組み状況	課 題	評 価
小・中学校情報教育整備事業	高度情報通信社会に対応できる為の施策として小中学校の情報機器を整備し、情報活用能力の育成を図る	学校内のコンピューターの環境整備を図り児童生徒のITを活用した情報教育や基礎知識の向上を図ることができた	各学校のホームページの更新等ができない状況にある。	C

環境教育の充実

環境教育は、環境の保全など接続可能な社会の創造に向け、児童生徒が環境に対する主体的な行動と実践的な資質や能力及び態度を身に付けるために行う必要があります。学校においては、地球規模の視野に立ち、身近な環境や環境問題に対して関心を持たせ、教育活動全体を通し、人間と環境との関わりについて理解を深める取り組みの推進を図ります。

主要事業	内 容	取り組み状況	課 題	評 価
ホテル観察会	ホテルの会やホタレンジャーの取り組みで、きれいになったホテルの館の川で、クメジマボタルの生息環境と生態を知り、森と水辺環境の大切さを学ぶ	教育委員会主催と久米島ホテルの会主催のホテル観察会が4月中旬から5月中旬までおこなわれ、500人ほどの参加が有り、盛況だった	200人参加した教育委員会主催ホテル観察会では、主催側の安全監視員が少なかった。ホテルの会の協力ボランティアに頼っている状態であった	A
離島交流促進事業 6月	6月2日座安小学校6年生71人が、久米島の小学校の児童が主にホテル館で受講している総合や理科学習に役立つ「生きもの探し」のネイチャーゲームを体験した	先生5人やスタッフ2人、教育委員会2人、博物館2人、ホテルの会7人の協力を得られた。自然学習プログラムが安全にスムーズにおこなわれたので、とても好評だった	午前中だけのプログラムだったので、時間が少し足りない。シェアリングの時間を含め、食事をホテル館で済ませながら、午後も少し時間を使える余裕がほしかった	A
久米島小学校地図づくり、 久米島高校インターンシップ受け入	応援プロジェクトの協力で始め久米島小学校6年生が取り組んだ儀間川の昔と今の地図づくりを、理科学習の面から協力した	久米島小学校6年生に、汚れた儀間川ときれいなホテル館の川の違いを、今と昔の川にたとえて自然学習をおこなった	この2つのプロジェクトの成果として、共に産業まつりに出展することができたこと。ホテルの会の協力があっただけでおこなうことができたが支援体制が必要	A
リバーウォッチング I Nカンジン地下ダム 11月	6年生の理科学習と関連した自然学習、環境学習をおこなった。各小学校6年生がカンジン地下ダムの浄化施設である南棚田で、水生生物の種類の調査や水質の検査をおこなう	事業は8年目に入り、水質浄化する棚田と森、自然の生き物の大切さ、その保全のために継続的に協力してきたホテルの会や「てもみん」、ホタレンジャーなどの自然環境保全の成果を学習した	できれば、10月から11月中旬までに開催したい。南部農林土木事務所、教育委員会からの安全監視員の増員と土地改良区からの多数の参加が必要	A

幼児教育の充実

幼稚園教育は、園生活全体を通して豊かな心情・積極的な意欲・健全な生活習慣，態度を育て，調和のとれた人格形成の基礎を培うものであります。幼児に適切な環境を与え，遊びを中心とした総合的な指導を通して，幼児の健全な発育を促進しながら、保護者及び小学校との連携を積極的に推進します。

主要事業	内 容	取り組み状況	課 題	評 価
預かり保育の実施	幼稚園児保護者の子育て支援として、教育課程に係る教育時間外に希望する園児を対象に預かり保育を実施	仲里幼稚園・清水幼稚園にて預かり保育を実施、平成23年4月両園合わせて32名（長期・一時含めて）の利用者がある	町内各幼稚園にての実施希望があるが、予算及び指導員確保が難しいので仲里・清水幼稚園の2園にて対応している	B
幼稚園教諭補充の配置	通常は教育委員会事務局で業務をし、幼稚園教諭が研修、休暇等の不在時に該当園へ補充として派遣	幼稚園教諭の休暇・出張等の際に補充として派遣している。また、園外保育などへも補充を派遣し安全面等への配慮も実施している	幼稚園教諭の出張等が重なる時が年数回あるがその時は合同保育等で対応しているものの、複数園で教諭が急な休暇等の場合があった場合対応ができなくなる	A
幼稚園ヘルパーの配置	支援を要する園児へのヘルパー配置	比屋定幼稚園にてヘルパーを配置し、支援を必要とする園児のサポートを行う	幼稚園において支援を必要とする園児が増える可能性があるが現状は人材確保が厳しい	A

青少年の健全育成

豊かな心と健全でたくましい青少年を育成する為、学校、家庭、地域社会がその教育機能を発揮するとともに生活体験・自然体験の機会を多く持つとともに、ボランティア活動の活性化に務めます。また、地域社会が「地域の子どもは、地域で育てる」意識を高め、子どもの教育に多くの大人が関わり、地域の教育力の活性化・高揚を図る諸施策を推進し、**地域**青少年の個性伸長や協調性涵養のために、青少年の社会参加や体験活動の拡充を図り、文化活動への参加の気運を高めるために地域の芸能・文化活動等の促進を図ってまいります。

主要事業	内 容	取り組み状況	課 題	評 価
なかさと（新潟県）交流会	ホームステイを通し家庭・学校交流、又、異文化体験学習を図る	2月に新潟県十日町市に5年生14名を派遣、7月に14名の児童を受け入れる	ホームステイ制度交流のため、家庭事情により参加したくても参加できない児童がいる	A
夏休みものづくり体験教室	夏休みの体験学習また自由課題宿題として7つの教室で物づくりに挑戦させる	昔ながらのおもちゃ、又、最近の手作りの道具等、バラエティーに飛んだものづくりに親子で参加	刃物を使うものづくりがあり事故等が懸念されるので確実に保護者そろっての挑戦が望ましい	A
ヤングフェスティバル	子ども達が各教室等で学習してきた成果を披露し自主生・創造性を育むことを目的とする	幅広いジャンルの子ども達の発表会とし、たくさんのプログラムにより家族が声援を送っている	限られた時間内での発表となりもっと舞台発表時間がほしいとの意見がある	A
久米島町子ども読書まつり	本の楽しさ・読み聞かせの楽しさを保護者に伝え家庭で読書の環境づくりができるよう活動を推進する	沖縄県子どもの本研究会の職員による読み聞かせや絵本の解説、展示販売を行っており、多くの親子連れが参加し、毎年新しい絵本も購入できる	読みたい本、本を読む環境、幼児から高齢者まで本に親しむ環境が整備されてなく早急に図書館整備が望まれる	A
町育英会事業	優秀な学徒で経済的理由により修学困難なものに学資を貸与し支援を行う	現貸与者数は138名で平成23年度貸与者は31名となっている	経済の停滞等により貸与生からの返還金が滞り新しい貸与学生への貸与資金が厳しい状況となっている	C

家庭・地域の教育機能活性化

町民の社会教育活動を支援し、時代のニーズに即した学習活動に対応するため、施設の整備や社会教育指導者、体育指導員の養成・活動を充実させ、多様な学習機会の提供を図ります。また、家庭教育や地域活動を支援し、各関連機関との連携に務め地域の教育力の向上に努めます。

主要事業	内 容	取り組み状況	課 題	評 価
社会教育指導員配置	社会教育班に「社会教育指導員」を配置し、担当職員の補佐役として、社会教育・生涯学習関連の各種講座・教室等の企画・運営を行っている	久米島町の子どもから大人まで、全町民を対象にして、各地域の中で、「人と人とのつながり」を通して、「生きる力」「地域の教育力」を高めていくよう、各種の「講座」「学習教室」を実施している	町の規程では臨時職員の雇用期間が3年になっているが、一般の事務臨時職員とは異なり、地域との連携やニーズに対応できる資質を兼ね備えた人材であるため、3年の期限付きでは社会教育活動の推進に支障がある	A
星空観察会	天文学や宇宙について興味や知識を習得し星座について理解を深める	夏休みの8月中旬頃、シンリ浜公園地において、町民・観光客を対象に実施	シンリ浜公園は、周辺からの明かりの影響がかなり少なくまた、安全に実施できる場所である観測ができる天体望遠鏡が不備	A
久米島町新春書道展	文字文化を通して忍耐強さ、素直に学ぶ心を育成し目標を持つような人材育成をはかる	島内小・中・高校生・一般の作品応募より県知事・県議会議長賞等を選出、具志川改善センターで書道展を開催	活字離れにより書道人口の減少、子ども達の書道力量も横ばい状態であり、学校・地域で更なる取り組みが必要	A
移動図書館ホタル号	幼児・児童、又、町民が誰でも何処に住んでいても、本に親しみ・図書が利用できるよう、移動図書館によりその環境づくりを図る	周3回巡回し図書の貸し出しや絵本・紙芝居の読み聞かせ等を行っている。	各ステーションへは隔週の巡回となるので利用者に不便をかけている 利用者数 1,374人	A
放課後子ども教室	様々な各種活動を通して放課後における子ども達の居場所づくりを確保し支援を行う	スポーツ・文化・読書・体験活動等により放課後の子ども達の学習環境作りを図っている	各小学校単位とし支援を行っているが、地域に人材が不足し万全な体制が構築されていない	B

スポーツの振興

生涯スポーツ、健康体力の基礎となる学校体育の充実、生涯スポーツ社会の実現をめざす為、施設・設備の充実を図り、スポーツの普及振興、健康保持・増進に務めます。また、生涯にわたり健康で心豊かな生活を営むためには、自発的・自主的な運動の日常化や健康生活を実践できる能力の育成が重要であり、地域社会及び関係団体等との連携を密にし、支援体制の充実・強化を図ります。

主要事業	内 容	取り組み状況	課 題	評 価
町民運動会	町民の親睦と体力増進を目的に全町民を対象に実施	毎年体育の日前後の日曜日に開催。競技やレクの種目において幼児から老人まで楽しんでいる	陸上競技人口の減少に伴い種目によっては欠場するチームがある	A
夏休み水泳教室	子ども達が水に親しむとともに体力・泳力の向上を図り健やかな成長を育む事を目的とする	B・Gプールを活用し個々の目標に近づけるようまた健康増進に努める	B・Gプールに近距離にある地域の子ども達の参加者は多いが保護者の送迎等の問題で遠距離の参加者が少ない 利用者数 145名	B
教育長杯学童軟式野球大会	軟式野球に親しむ子ども達に夢と希望を与えるとともに体力向上・技術の向上・交流を図ることを目的とする	野球連盟久米島支部の協力により島内5つの少年野球チームによる大会を開催	少子化に伴い各チームとも部員が減少傾向にある	A
教育長杯ホテルカップ（バスケット）大会	ミニバスケットボールを通して近隣校との交流を図り基本的技能を習得し試合によって体力の向上とたくましい精神を養う	久米島町バスケットボール協会の協力の下、島内小学校より男子3チーム、女子4チームが出場しリーグ戦を行う	少子化に伴い各チームとも部員が減少傾向にある	A

生涯学習の推進

生涯学習の推進にあたっては、町民一人一人が学習の各時期において生きがいのある人生を過ごすことができるよう、学習形態と施設の整備拡充や諸施策を展開します。最近の調査によると国民の3分の2以上が「生涯学習」に関心を示しており、人々がいつでも自由に学習機会を選択し、学習活動を楽しもう・生きがいを見いだそうとする学習意欲が高まりつつあるので、的確にニーズを把握し環境を整備するとともに拡充を図って参ります。

主要事業	内 容	取り組み状況	課 題	評 価
久米島町文化協会	町民の生涯学習、また久米島町の文化振興が図られるよう育成する	各部会における愛好者の発表会として三線の日等、又、文化祭りを開催している	各部会の取り組み、会組織の運営が煩雑になっている。組織強化、充実が求められる	C
久米島町体育協会	スポーツの普及奨励を通して体位の向上とスポーツ精神の高揚を図り明るく活気のある地域づくりを目的とする	島尻郡球技・陸上大会参加、島内職域大会、町行事、学校関係の行事に協力し、競技力向上、活性化を担っている	島尻郡大会への選手派遣費の一部を自己負担している為、派遣費の増額が必要	A
三線教室	沖縄が世界に誇る三線を基礎から楽しく習得する事を目的に、初心者向けの教室を実施する	6月から12月まで毎週1回、講師の指導のもと、具志川教室・仲里教室の2ヶ所で開催している。三線のない方には貸出をしている	初心者を対象に行っており、町内の三線愛好者の拡大につながっている	A
久米島古典民謡大会	町には古典・民謡・琉歌が多く優れた芸能文化を保存・継承し愛好者の底辺拡大を図る	毎年9月第4土曜日に課題曲3曲から1曲選択し歌唱する出場資格は自由	今年で2回目となるが幅広く募集を行っているものの参加者、又観客が少ない	B
芸術文化振興事業	舞台芸術を鑑賞する機会を作ることによって子ども達や若者に文化に対する意識啓蒙を図り夢や活力を育てる	中学生を中心とした舞台芸術、「現代版組踊り絵巻」を具志川改善センターで実施	観客は多かったが、内容・周知不足の為、中学生・高校生が少なくせつかくの芸術舞台を鑑賞させることができなかった	B

文化・文化財の保存継承

町民が等しく郷土の文化にふれ、文化財に対する理解を深めるとともに、豊かな文化生活の形成に資するために、文化財の保存・活用及び芸術文化の振興を図ります。このため、町の史跡等の復元整備をはじめ、国・県・町指定文化材の環境整備を推進するとともに、建造物、美術工芸品、史跡、名勝、天然記念物等の調査、また無形文化財、民俗文化財の継承者養成に努めます。

主要事業	内 容	取り組み状況	課 題	課 題
ミュージアム活性化支援事業	本町の多様で豊かな文化遺産を活用し、観光振興・地域活性化を推進する	博物館活性化事業として案内図制作・リーフレット制作等、又、久米島紬公開活用事業を実施	平成25年度までの継続事業で、博物館を含む文化遺産活用の拡大を図る	A
具志川城跡保存修理事業	具志川城跡の適切な保存・活用を図るため、調査を実施し城跡修復するとともに、崩壊を防止し史跡の価値を維持する	崩落石材採集、危険箇所注意サイン設置ボーリング調査（地質調査）	修復地点の地盤強度確保を図るとともに長い年月に伴う風化現象があるのでその対策が必要である	A
史跡等埋蔵文化財公開活用事業	島内にはたくさんの文化財があるので歴史文化遺産の保護活用の推進を図りながら町民・外来者に広く紹介する事を目的とする	グスク模型製作、学習教材等作成、文化財案内板設置をし歴史文化遺産の啓蒙活動とともに観光産業に寄与できるように整備を図る	数多くある歴史文化遺産の継続的な整備と、徹底した清掃管理が求められる	A
歌碑建立事業	歌碑を建立し、久米島の昔を語る琉歌の保存継承を図る	兼城公民館敷地に古い集落名浜川に因む「浜川こはでさ節」と、その他「こはでさ節」「赤さこはでさ節」の歌碑を建立	地域が継続して誇りに感じる歌碑の建立が望まれる	A
久米島紬保存伝承事業	国指定重要無形文化財「久米島紬」の手わざの保存伝承を図る	養蚕、絹糸作り、糸つむぎ、真綿作り、製織の伝承者養成（講座・講習） 原材料・用具確保	生産技術の保存伝承により、生産販売拡大や担い手・後継者の充実した生産活動につなげる	A
特別・企画展開催	教育文化の向上に資するため、特別・企画展等を開催する。	長谷氏絵画展、久米島まるごと博物館展、平和展、久米島の川と海生き物展、沖縄のわざと美・染め織り展、久米島紬・宮古上布・南風原琉球絣合同企画展の開催	毎年行われている企画展のマンネリ化が懸念される	B

教育委員会の活動状況について

(1) 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議は原則として毎月10日を基本に定例会を開いています。平成23年度は15回(臨時会3回を含む)開催しました。

(2) 教育委員会会議以外の活動状況

○ 研修会(3回)

沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会及び研修会 (23年度5月)

沖縄県市町村教育委員研修会 (23年度10月)

市町村教育委員会委員・教育長研修会 (24年2月)

○ その他活動状況 (各種行事等への出席)

年度	月	行 事 名
23	4	各小学校入学式・各中学校入学式・久米島高校入学式
	4	教職員歓迎会
	5	久米島PTA連合会総会
	7	なかさと交流
	7	各幼・小・中運動会 (7月～10月)
	8	中体連陸上競技大会
	9	久米島古典民謡大会
	9	久米島PTA連合会研修
	10	久米島小体連陸上競技大会
	10	久米島地区童話・お話・意見発表会
	11	那覇地区駅伝大会
	11	町学力向上実践発表会
	11	久米島町民俗芸能発表会
24	1	町新年会
	1	町成人式
	1	町ヤングフェスティバル
	2	久米島町新春書道展
	2	各幼・小学校学芸会、各中学校学習発表会
	3	小学校音楽発表会
		小・中・高卒業式

外部評価委員の意見

委員長 嘉味元ミツ子氏
委員 吉原 昌司氏
委員 松本 一也氏

点検・評価については、より良い教育行政を推進するために、町民への説明責任を果たすことで自らの資質向上につながり、又、公表する事で教育行政が町民への理解となり信頼を得る事となるので、今後においても町が求める人材育成を教育行政でも軸とし、教育行政の点検・評価の充実に努めてもらいたい。

久米島町教育委員会の事務に関する内部評価については、概ね妥当だと思われるが、久米島町の課題である学力問題、これから子ども達が社会に出て活躍する為には学校・家庭・行政が連携して学力の向上を図る取り組みが必要である。

そして、学力の課題として、「読解力・活用する力が弱い」との事だが、読書等との関係もあるので、読書の中身で充実が図られるような事が必要だと思われる。各学校の図書室の図書に古本が多く子ども達を読みたくなるような本が少ないとの事もあり、学校図書室の図書の充実、又、町民が気軽に利用できる、読書できるような環境整備として図書館の整備を望む声もあるので、町民が本に親しめるような環境を構築できればと考える。読書まつりは子育ての保護者から好評のようだが、読書まつり開催時に、会場で、現に読み聞かせを行っている保護者・関係者に朗読させるような取り組みを図ってはどうか。

また、子ども達の健康面についても、それなりの取り組みがされているが、保護者対象の講演会等を増やし、子ども達の健康面について保護者の認識を図る事が求められる。

学校統廃合については、教育上の課題、地域の学校に対する思い等で厳しい面もあるかと思うが、町民にしっかり説明責任を果たし取り組んでほしい。

海外ホームステイはこれまで女子の派遣が多いようだが、男子も積極的に申し込みができるような説明会・雰囲気づくりが必要かと思われる。今後はハワイ州との交流も視野に入れているようだが、子ども達が大きな視点で外国との交流ができ島を代表する人材に育ててほしい。

各学校のホームページは、学校紹介で重要な位置付けとなり、更新がなければ単に学校の怠慢ともなるのでしっかり対策を講じ、それぞれの学校の状況が把握できるよう早い対応をすべきである。

夏休みものづくりは具志川改善センターで、毎回実施しているが、場所を移して情報プラザでも実施できないか検討が必要。毎年恒例の教室であり、場所を変えて実施すれば参加者も増えると予想される。

町育英会事業は、修学支援となり子ども達が学業に専念できる為、これまでおおきな額の貸し出しとなっているようだが、今後も継続支援となるので貸与資金の回収については積極的な展開、督促状・電話での督促・戸別訪問により貸付金回収をする取り組みが求められる。

文化財行政については、久米島の歴史・文化を広く紹介するためのも、博物館の活性化が望まれる。待ちの姿勢ではなく観光協会との連携を図り島の発信をしてほしい。又、島内の史跡・文化財周辺の管理ができていないので、定

期的に清掃し訪れる皆さんが気持ちよく見学できる環境整備に努めてもらいたい。

以上、平成23年度事業については、各事業ごとに課題があるので、対策を講じ、次年度に向け町民のニーズにあった教育行政の取り組みがしっかり図られるよう努めてください。